【奈良ホテル本館の概要】

1. 名称･員数　　奈良ホテル本館　１棟【明治４２年、旧共同浴室部　昭和３年増築】

2. 所在地　　奈良県奈良市

3. 所有者　　西日本旅客鉄道株式会社

4. 説明

奈良ホテル本館は、官設直営のホテルでは先駆的な事例で、開業以来、国内外の多くの要人迎え入れ、現在もホテルとして営業を続けています。

本館は明治４２年の建築で、設計は大阪市中央公会堂の実施設計で知られる辰野片岡建築事務所です。内外とも和風を基調としながらも、玄関部を中心に両翼を前に突出させるコの字形の配置や、各室に備えられたマントルピース、高い天井、ロビーの吹抜と大階段は、西洋建築にみられる手法です。

旧共同浴室部は昭和の大典に備えて昭和３年に東客室部の東に増築されました。既設部分と意匠を併せて調和が図られています。

奈良ホテル本館は、改修は受けているものの、全体としては創建当時の姿を良好に維持しています。また、当時一級の建築家が複数人関与し、奈良の風土に育まれた和洋折衷の意匠を破綻無く纏め上げた高い技量と完成度が認められます。明治時代後期に地域性や民族性を意識した建築様式が模索されていた中で建設され、地域の風致に調和した和洋折衷の建築としても高い歴史的価値を有しています。



南より